



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

2021年日音協セミナー及び若い会員の交流会の開催延期について (お知らせ)

日頃から日音協活動にご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、2020年11月14日開催の第57回定期総会でご決定いただいた議案第1号「日音協2021年度活動方針」では、2021年2月に東京都小平市において2021年日音協セミナー及び若い会員の交流会を開催することとしていました。

しかし、定期総会後の全国各地における新型コロナウイルス感染症の感染状況がさらに拡大していることから、参加者の感染防止を最優先とするため、当初予定していた2021年2月の開催を2021年夏季(7月下旬～8月)に延期することとしましたので、お知らせいたします。延期後の日程は、感染状況の収束を見極めた上で改めてご案内いたします。

なお、延期後の開催時期は、東京オリンピック及び東京パラリンピックの開催時期と重なるため、宿泊先の確保等の観点を含めて、開催地の変更も検討した上でのご案内となる予定です。

10年ほどぶりに音楽祭の開催を決定 「新しい仲間」についても積極的な議論 日音協第57回定期総会／続開総会

日音協は12月13日、第57回定期総会の続開総会を開催しました。11月14日の総会がインターネット接続が切れたために休会とならざるを得なかったことを受けたものです。総会には11支部12人の代議員と役員、傍聴者あわせて23人が出席しました。総会は議案第3号「音楽祭の現状と今後のあり方について」を議論し、文言修正のうえ決定。白石信吾さんが幹事を退任する後任に根本賢治さん(千葉県支部)を選出して閉会しました。議長は岩藤範雄さん(東京都支部)。

【東京】10月に示された原案に何支部が意見を出したか。都支部は新しい仲間を迎えられる音楽祭でなくて「参加」ではないか、と意見を出したがどう扱われたのか。10月23日までとして意見集約したことが抜けている。平和フォーラム、さよなら原発との連携を明

月14日発言分と12月13日発言分とをあわせてご紹介します。

【沖縄】来年の音楽祭に向け、連合としっかり連携をしながら私たちの音楽運動を広げる。連合未加盟の全港湾、高教組にも声をかけていく。

文化すべき。音楽祭は毎年開催するという認識でいいか。ここ数年の音楽祭の出演団体数を、70年代と比較して資料で示してほしい。【長野】討論の範囲は音楽祭のあり方に絞ってはどうか。5年、10年先という短いスパンで考えてはどうか。同窓会のようにいろんな人たちがいろんな表現をすることはいいこと。合唱、アカペラ、ギター、バンド形式、それぞれのやり方を受け入れてほしい。新しい仲間「イコール「若い人」というだけではないのか。若い会員の交流会も若い会員の提案をいかしてほしい。

費を削減することを考えるべき。各支部の発言に対して金田事務局長が、「10月に示した議案に4支部に意見をいただき、演奏時間と演奏者負担金については引き続き検討していく」と議案修正した。新しい仲間を迎えられる音楽祭とは、「一緒に音楽祭に行こうよ」と言えるような会場やスタイルを維持しようということ。60歳超えの会員も若い新しい仲間と声をかけることが大切。議案の期間としては10年ぐらいまでのスパンを想定。いろんな表現の仕方を受け入れながら議論もじっくり、とお願ひしたい。演奏時間と料金の関係は、見直すこと自体は理解する意見が多いが、負担金額にさまざま意見があり、「時間ごとの負担金は音楽祭の理念にあわない」という意見もあったので、第53回沖縄は従来通りとしたうえで落ち着いて検討したい。非正規雇用が費用負担は大変ということは忘れないようにしたい。

中心は地方連合の協力をいただきながら、連合以外の労組も大事にする。経費のことも引き続き議論する。平和フォーラムは何らかの形で挿入する。毎年開催と理解してほしい。過去の演奏団体数のデータも示すと答弁。松本会長の「音楽祭はやめない、続けていく。会場は東京、首都圏に限らない。その他の部分は音楽祭ごとの議論を保証する。以上の趣旨でぜひご賛同を」という発言を受けて、議案は賛成多数で可決された。

役員を選出し、退任する白石幹事のあいさつ、新任役員を代表して松本会長のあいさつがあり、総会を閉会しました。

【新役員】

会長 松本敏之（茨城）
副会長 佐藤康宏（青森）
副会長 坂口美日（東京）
事務局長 金田光弘（茨城）
幹事 後藤雅裕（秋田）
幹事 細川 剛（香川）
幹事 塚本 昇（長野）
幹事 竹内崇史（新潟）
幹事 根本賢治（千葉）
監査 磯野宏之（北海道）
監査 山城文雄（沖縄）
議案第3号の一部を次のように修正することにしました。

（修正前）

連合をはじめとした労働組合の支援を受けて音楽祭を開催することは…。

（修正後）

連合をはじめとした労働組合や平和フォーラムなどの支援を受けて音楽祭を開催することは…。

音楽祭中央実行委を開催

総会閉会后、第53回はたらくものの音楽祭第2回中央実行委員会を開催しました。沖縄開催にあわせて実行委員会事務局次長を平良昌史さん（沖縄）に交代。屋外での開催の是非、新型コロナウイルス感染症とのかかわり、辺野古現地での行動との連携などについて意見を交わし、来年11月を軸に音楽祭の成功をめざすことを確認し合いました。（松本敏之）

日音協のインターネット音楽祭開催中

- ①「ゲゲゲの総理」
詩・曲・編曲・演奏・映像＝ブービーバンド
- ②「地底のうた」
北海道支部（第12回はたらくものの音楽祭）
- ③ あんくるん 東京都支部交流会 2020.11.21
- ④ 狭石啓子 東京都支部交流会 2020.11.21
- ⑤「ありがとう青春の歌たちよ」
詩＝今村一男、曲＝笠木博逸、歌と演奏＝沼前光典
- ⑥「さくらエレジー」
詩・曲＝笠木博逸、歌と演奏＝沼前光典

- ⑦「生きる」原詩＝相良倫子、
詩・曲＝笠木博逸、歌と演奏＝FMカンパニー
- ⑧ 風来帽子（ジョニーH、岩野浩昭）
東京都支部交流会 2020.11.21
- ⑨ 49（フォーティナイン）
東京都支部交流会 2020.11.21
- ⑩「核のゴミと原発マネーのブルース」
FMカンパニー
- ⑪「フィンランディア」（希望の歌）バーチャル合唱
- ⑫ Rico & Tatsu イットクTV出演 2020.8.30
- ⑬ 9.11 経産省前テントひろば 10年目大集会
日音協演奏



はいさい！ いい正月で一びる。

昨年は新型コロナウイルスで何も出来ない状況ではありましたが、「はたらくものの音楽祭 in 沖縄」に向けて、いろいろな話し合いを続けた一年でした。

多くの仲間からのエールも届きました。沖縄に行きたい、沖縄で歌いたい！ 沖縄の問題は沖縄だけの問題ではないとの思いを全国に発信していきたい。万国津梁の鐘を打ち鳴らしたい。今年は、そうした一年にしていきたいと思います。みるくゆがふぬとうしになるよう、まじゅんチバラナヤーサイ。（いい世の中になるよう、ともに頑張りましょうね。）

上の写真は12月20日に行った「第12回笑顔笑顔のクリスマスコンサート」コロナ禍ではありましたが、9つの団体が参加しました。

世界中にいい笑顔が届きますように！

（沖縄県支部・平良昌史）

FMカンパニー新年ご挨拶

毎年当たり前のようにやってきたものが、突然コロナで出来なくなり、初めて「当たり前」の有難さが身に染みる。

人前で「歌う」ことが出来なくなり、「声援すること」も手振りだけ、「ガンバロー」と大声で叫ぶことも仲間と出来ない。

さてどうしたものか、酒と歌うことをこよなく愛すFMカンパニーにとっても「苦行」の日々が続いている。

でも、こんな時だからいつもと違う創作のやり方を探ってみる。

「止まない雨はない。」「春の来ない冬はない」

もう少ししたら、きっと以前のような「当たり前」がくることを信じている。

「沖縄」で会えることを目標にして、もっと歌う力をつけたFMカンパニーにしていきたい。これを最後ではなく、これからも。（北海道支部・磯野宏之）



2020年度日音協岩手県支部の活動について

2019年12月、岩手県支部は総会を開催し、長年会長を務めた豊巻直子さんが退任され、後任には高橋伸明事務局長が、新事務局長には佐藤幸子さんが就任し、新年度のスタートを切りました。▼2020年1月5日の「躍進旗開き」を皮切りに、6月開催予定だったはたらくものの音楽祭の発表曲の選考や春の練習会合宿開催に向けて、事務局会議を開催し、計画を立てました。▼しかし、新型コロナの影響で、春の練習会合宿を土壇場で中止、はたらくものの音楽祭も中止となってしまいました。▼また、毎年開催されている「働く者の健康を考える集い」や東北北ブロック合宿も中止となってしまいました。▼秋田県支部と青森県支部に多大なる御協力を頂きながらいつも年末に開催している「はたらくものの音楽祭INいわて」も、新型コロナのため開催を断念しました。結局旗開きが「歌い始め」と「歌い終わり」を兼ねてしまいました。▼新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言が出された3月以降、全く活動していません。というのも、会員の多くが学校現場関係者、役所関係者であり新型コロナウイルス感染症に罹患する訳にはいかない状況にあるからです。▼岩手県支部事務局会議も2月以降開催できず、LINEとメールでの意見のやり取りを行っているのみです。▼2021年の「躍進旗開き」も中止となってしまいました。残念！新型コロナを収束させ、再会する日まで頑張りましょう！

(岩手県支部・高橋伸明)

秋田県支部(第34回総会 2020.12.10「はじめに」より)

戦後75年が経過し、解釈改憲の枠を広げながら戦争ができる国づくりを進める政府・自公政権は、秘密法や共謀罪など、憲法が定める国民の知る権利や基本的人権を抑制する法律を作った一方で、自衛隊の海外派遣を含む戦争法まで作ってしまいました。

いうまでもなく憲法は権力の暴走を許さないための最高法規であり、権力を持たないすべての国民を守るためのものであり、国会が定めるすべての法律の基本であり、立法も行政も司法も憲法を守る義務と憲法に従って職務を行う責務を課しているのです。だからこそ、戦後長く続く自民党を中心とする政権は憲法に縛られることが不自由で堪らないというわけです。

働く権利をはじめとして、安心して生活する権利も、学ぶ権利も含めて基本的人権が守られてこそ権力を持たない国民が憲法に守られて、安心して働き暮らせる社会を築いて行くことができます。国民ひとりひとりが与えられている権利を行使されることを都合悪く思っている人たちが、憲法が定める権力者を幾重にも取り囲み、権力から最も遠いところにいる圧倒的な国民がしわ寄せを受け、雇用からも賃金からも生活からも、不安を抱えている人たちが増えているのです。その権力者が憲法を改正したいと言っているのだから、これは絶対に許す訳にはいきません。

はたらく者を取り巻く情勢は厳しく、はたらく者の絆はあちこちで切断されて、その潜在能力を発揮出来ずにいます。そうした情勢だからこそ、はたらく者の労働や生活の実態を見つめ、討論する中から歌や構成詩などの作品を創作し、歌い広める音楽運動を通じて労働運動に貢献していくとともに、市民運動との交流も意識した活動が続けることが大事になります。反戦・平和、反基地、さよなら原発なども含めて運動課題は多岐に渡っていますが、日音協秋田に加盟する労組の皆様と一緒に音楽運動を半歩前進させて行きましょう。

コロナ禍にめげず頑張ります

コロナに始まり先が見えないまま迎える2021年。福島県支部も昨年1月の総会と4月に中止となった千葉祭典に向けた打ち合わせ会議のみでほとんど何もできなかった1年でした。そんな中、昨年6月と9月に開催されたネット音楽祭には何とか工夫をしながら参加でき、気軽に顔が合わせられない中で仲間とのつながりが持てる良い企画でした。この取り組みで会員のPCスキルを向上し、より良い映像を創る課題なども見えてきました。

今年2021年3月には東日本大震災と福島第一原発事故から10年が経ちます。コロナ報道に隠れ原発事故報道は決して多くはありません。よくもこれだけのハコモノが建設されると思うくらいの復興事業の陰で、原発事故により県内では3万7千人の避難生活が今も続けられています。私自身も住民票がある自治体と実際に住んでいる自治体が異なり、住んでいた町との縁が切れそうで10年続けてきました。現在、政府・東電は貯め続けているトリチウム汚染水を30年にわたり海洋放出しようとしています。事故の被害者の地域から汚染水を流す加害者にしようということです。

80年代から原発問題を音楽作品として取り上げ続けてきた福島県支部。高齢化の波は我が県支部も同様で現役世代はとうとう一人となりました。退職者ばかりといってもまだまだ年を感じさせない会員ばかりです。県内各地でコロナ禍にめげることなく今年も頑張っていきます。

(福島県支部・南條善徳)



今、青森もドカ雪に囲まれ冬ごもり中です。思えば春からステイホーム、在宅勤務とやらもさせていただきしました。中には、かえって自分を見つめ直す好機ととらえ、「うたができた」という人もいたのではないのでしょうか。全国代表者会議も日音協総会もリモート会議となりましたが、やはり面と向かって話をするのがしっくりきますね。

反核燃の日全国集会も中止、はた音もブロック合宿も中止で、多くのみなさんと顔を合わせる機会がほとんどなかったのは残念でした。

県支部としても思うような活動ができなかったですが、少しずつでも「何かができた」という新しい年にしたいものです。

どこまでも胡散臭い永田町の寒桜。学術会議改革の正体は戦争に協力する御用学者づくり、アマビエ招来！コロナ退散！牛歩のようにゆっくりでも 倦(う)まずたゆまず 半歩でもいい、着実な歩みを！

2021年 丑年元旦
(青森県支部・甲屋文史)





東京都支部です。

2020年は3月のさようなら原発集會中止を皮切りに、メーデーも憲法集會も、ネット配信に限定され、歌う場はありませんでした。練習の場としていた公共施設の貸し出しも止められ、都支部会員が多く所属するメーデー合唱団も、月1回しかない練習が5か月間も休止に追い込まれました。

毎週金曜日に国会周辺で行われる反原発行動も、感染状況を見ながら休止や再開をくり返しています。

このような中でも悪政に対し呼びかけられる抗議行動は多く、そこで歌は求められています。家族のこと、仕事のことで参加を控えねばならず、歯がゆい思いをしているという声も聞きますが、今は安全第一。できる人ができることをやって、繋いでいます。幸い、私たちの中には闘いのうたがあります。自粛の日々にもその歌が私たち自身を支えてくれているではありませんか？

コロナ感染拡大で支部としての活動は滞っていますが、先だっの都支部交流会ではサークルごとの練習の工夫や各自の活動の報告など、歌い続ける意思を共有しました。全国のみなさん、顔を合わせ声を合わせてともに歌える日まで、お互い元気でいきましょう。
(東京都支部・森理子)

たった一言
一言だけ
それがこんなに嬉しいなんて

支え合い
助け合い
励まし合って
働き続ける
今日も

たった一言
一言だけ
それがこんなに
苦しいなんて

なぜだろう
言いたくて
言えないことが

考え続ける
今日も



職場には見えない力が働いています。その力の中での喜怒哀楽を、今年も歌にして届けられるようにしたいと思います。

(新潟県支部・山本英二)



12/19 事務局会議(磯野事務局長宅にて)

富山県支部です。
全国の機関紙購読の皆さん!

新しき年を健やかに迎えのことと思います。

さて、去年は新型コロナウイルス拡散で活動らしきことが、ほとんど

できませんでした。コロナはすぐに拡散するのに、仲間の拡散ができないのはなんでだろうと悩みながら、「幸せは歩いてこない、若い仲間も歩いてこない、だから歩いてゆくんだよ」って、これからも運動を継続するために、若い人たちとどう接触し、魅力ある活動をアピールできるか模索していきましょう。

「1日一歩3日で三歩」コツコツと積み重ねてゆ

くしかないですね。
今年はコロナもどうなることやら。
沖縄で会えるとい

いですね。
よろしくお願いします。

(富山県支部・磯野)



「8/9 高岡大仏寺前にて」

長野県支部で～す。

第52回の音楽祭にて、活動休止9年を経て再スタートしたパールライス。「真紅」の演奏を聞き、「そろそろ動き出しますか」と重い腰を上げたオジサン2人と3人の娘たちにより活動を再開しました。

パールライスの過去の名曲(?)と言われている「明日に向かって」「水と光のハーモニー」などを練習する中で、私たちの曲をもっと色んな人に聞いてもらいたいという気持ちが高まり、毎回音楽祭に向けて力を入れながら練習に励んでいます。コロナの影響もあり、最近は練習ができていませんが、新曲披露ができる日を心待ちにしています。

オジサン2人は還暦を過ぎ、娘のうち2人はアラサー。あの頃のような若々しさと活気はだんだんと無くなってきてしまいましたが、意欲だけは今も変わらずあのままです。新生パールライスの活躍に乞うご期待!!
(笑笑) また音楽祭で会いましょう!!

(長野県支部・青木瀬奈)



2010年頃の長野の皆さんです(編集部)

コロナ禍の中でも笑顔に！ 笑顔笑顔のクリスマスコンサートを開催

沖音協が事務局を担い、実行委員会方式で第12回 笑顔笑顔のクリスマス首里城復興祈念チャリティーコンサートを12月20日(日)に開催しました。

今年はコロナ禍のなかで開催をやめようかとも思いましたが、毎年参加しているバンド仲間の熱い思いもあり、フェーズ4になった時点で中止、感染防止を徹底するとの条件で準備を進めました。参加したのは沖音協を始め7団体です。初参加のバンドも2団体あり、ネットワークも広がりました。

バンドメンバーが屋外イベントの対応も出来る会社を営んでいることも分かり、「はたらくものの音楽祭」への協力もお願いしました。首里城再建カンパは観光客や外出自粛の中ではありましたが、2万6千円集まりました。大成功でした。新型コロナが収束して、早くみんなが笑顔になれるように。(平良昌史)



「新しい生活」よりも「新しい政治を」 ブービー「ゲゲゲの総理」で動画配信 コロナ禍に負けるな！ガースー禍くそくらえ！

インターネット音楽会ではMV(Music Video)で初参戦した。初めの映像は固定自撮りで3人が歌っているだけのものだったが、歌詞を付けたいとか、安倍や菅の映像も欲しいねとか、酒を飲んで盛り上がっていった。

がしかし、3人とも映像編集などやったことがない。インターネットで無料ビデオ編集ソフトはないかと探すところから始したが、Windows10の中の「ビデオエディタ」があり、初心者でも簡単というので64歳の手習いでやり始めた。演奏や映像の取り直しを繰り返し、しまいにPCも動画を貯めすぎてフリーズしたりと、悪戦苦闘の日々が続いたが、なんとか4週間かけ12月13日に完成した。

好評を得てますますといったところだが、YouTubeの再生回数ではまだ100人ちょっと、バズるまでには至っていない。皆さん、新年の初笑いに何回でもご視聴ください。

『ゲゲゲの総理』

マスク マスク マスク アベノマスク
いつまで待っても届かない とどいたところで嬉しくない
たった2枚じゃ役にも立たない
新しいのに白くない
かわいいアゴもかくれない 感謝の気持ちはおこらない
ナイ ナイ ナイ 他にやることがたくさんあるのに
ゲ ゲ ゲゲゲのゲ～
マスクを配ってブーイング 疲れるな 辞めたいな
最長記録達成したし 未練も何にもない

リスク リスク リスク スガノリスク
安倍とちっとも変わらない
変わらなければ意味がない
影が薄くて目立たない 肝心なことは答ええない
メモがなければ話せない 質問の意味が分からない
ナイ ナイ ナイ 求められることがたくさんあるのに～
ゲ ゲ ゲゲゲのゲ～
学術会議で突っ込まれ 困ったな 弱ったな
説明が出来ない 評価も人気もない

コロナ コロナ コロナ 新型コロナ
いつまでたっても終わらない なにがなんだか分からない
ワクチン開発進まない 濃厚接触もできない
三密四密もできない 飲んだり食べたりも出来ない
ナイ ナイ ナイ やりたいことがたくさんあるのに～
ゲ ゲ ゲゲゲのゲ～
日本の総理は下の下の下 日本の政治も下の下の下
「新しい生活よりも 新しい政治を WOO」

さてコロナ禍で昨年10月のファイナルコンサートが中止となり、やり切れない思いもしたが、今はブービー結成35周年の記念CD、DVDの制作に動き出している。乞うご期待。(磯野宏之)



水道橋だより

▼昨年千葉で予定していた音楽祭のオープニング発表に向けて多くの仲間と練習を重ねていましたが、中止になり以降の活動が再開できず、集まることの重要性を再認識しています。個人的にはできることはほぼありませんが、幹事として積極的に関わっていくなかで仲間と共に感してもらえる取り組みをできたらと思います。(根本)

▼この度の総会を持ちまして幹事を退任しました白石です。約10年の幹事を担う中で千葉の青木さんから会計を引き継ぎ担当いたしました。何時も皆さんには会費の請求や会議での経費の精算、はたらくものの音楽祭では受付でお金のやり取りと、何とか間違いもなく務めさせて頂き厚くお礼申し上げます。益々大変な中ですが皆で力を合わせて楽しく前進しましょう。お世話になりました。(白石)



▼音楽運動、今年もよろしくお願いたします。▼急ぎよの原稿依頼のため、今号の入稿に間に合わなかった支部の皆さん、2月号があります。お待ちしております。「倦ます」とは、「飽きたり、怠けたりせず」という意味とのことです。(佐藤)

どん行

(138)

飯島貞親

告を強めてほしいものだ。

火曜日、上野さんが『斎太郎節』の替え歌をメーリングリストにあげていた。きつと今日はそのお披露目がある。期待して菜葉坂に向かった。いつもより早く到着して準備していると、モリヤさんとイサさんが早々と通りかかった。彼女たちは経産省前の反原発行動や、文科省で行われる朝鮮学校差別への抗議行動に参加し、その後、官邸前に向かうのだ。モリヤさんは会いたい人が来るからと菜葉坂を登っていき、イサさんは立ち止まっていたいように

上野さんの紹介音源はYouTubeの「早稲田大学グリーンクラブ 斎太郎節」。有名な民謡がすごい迫力の男性合唱曲になっていた。原発反対の替え歌も、こんな迫力で歌えるだろう。坂口さんが到着。これは彼女の地元の民謡で、小さいころから踊っていたとのこと。「えんやーとと」のベースコールや合いの手を入れたら合唱っぽくなりそう。ようこそさんが頑張って「あーこりやこりや」を入れてくれた。「前は海後はタンク 汚染水 放つな

『菜葉坂の祈り』『あなたに届け』『菜葉坂賛歌』『DOR E DORE』と、いくつもの上野作品を歌う。そして瓦井さん作『双葉の秋』。この季節にこの曲を歌うと、黄金の穂が広がる故郷のイメージと国会議事堂の冷たさとが対比して胸が締め付けられる。「いつ帰れる見上げる国会前の空」。訴えても答ええないこの「国」。切り捨てる時には躊躇しないこの「国」。コロナ禍という危機においてまで利権優先があからさまなこの「国」。

原発事故から10年。事故から1年の2012年に始まった金曜行動は丸9年になる。け

※12月4日は2名。12月11日は1名、ということですが休み休みでも継続しています。12月18日は休止の予定とのこと。一年間くろうさまでした。(編集部)

【参加者】上野さん、ようこ、イサさん、ヨネさん、坂口、達哉、コミネツチ、森 計8名

参加してくれた。ようこさん、ヨネさん、上野さんが到着。早速『斎太郎節』の替え歌『浜通り節』を歌ってみた。

『菜葉坂の祈り』『あなたに届け』『菜葉坂賛歌』『DOR E DORE』と、いくつもの上野作品を歌う。そして瓦井さん作『双葉の秋』。この季節にこの曲を歌うと、黄金の穂が広がる故郷のイメージと国会議事堂の冷たさとが対比して胸が締め付けられる。「いつ帰れる見上げる国会前の空」。訴えても答ええないこの「国」。切り捨てる時には躊躇しないこの「国」。コロナ禍という危機においてまで利権優先があからさまなこの「国」。

『お見送りの歌』は前回の反省を踏まえて季節を確認。「初冬の夕べ」とした。寒さはまだ感じないがこれから冬だ。東京の新規コロナ感染者数は急増している。「また来週！」との約束はしない。どうかみんな元気で。

れど原発は止まっていない。事故から生じた汚染水の海洋放出案や核のゴミ問題は、地域格差を改めて浮き彫りにした。嘘は開催前ながらどれだけのものを犠牲にしたか。復興のための人手も物資も奪ったことを忘れてはいけない。原発だけでは、分断による無関心と浸み込んでくる差別構造を見定めなくては。

歌の力が物語るもの 94

官邸前反原発行動 11/27 (405回) 報告 Rico

「スマホ脳」というスウェーデンの精神科医が書いた本が、スマホが脳に及ぼす影響の深刻さを警告している。1日に4時間もスマホに費やしている人が多いが、精神的な不調を訴える人が増えていることと相関しているとのこと。▼スウェーデンでは、大人の9人に1人が抗うつ剤を服用し、不眠症で受診する若者が2000年に比べて8倍にも増えている。スウェーデンの11歳児の98%が自分のスマホを持っており、呼び出し音ばかりが気になって、他のことに集中することができない子が急増している。睡眠にも集中できず英国では11、18歳の半数が夜中にスマホをいじっており、10人に1人は最低でも10回確認している。よって、物事にじっくりと取り組むことはなくなり、本を読む通ずとか、上達に時間がかかるピアノやバイオリンなどクラシック楽器を習う生徒の数が著しく減っているという。▼スマホ関連企業のトップたちは、デジタル機器の怖さを誰よりも知っていて、スティーブ・ジョブスもビル・ゲイツも自分の子どもにはスマホを遠ざけている。▼スマホを歩きながら見る人は他人が避けてくれると思いついて入ることも含めてスマホにのめり込むことへの警告を強めてほしいものだ。

れど原発は止まっていない。事故から生じた汚染水の海洋放出案や核のゴミ問題は、地域格差を改めて浮き彫りにした。嘘は開催前ながらどれだけのものを犠牲にしたか。復興のための人手も物資も奪ったことを忘れてはいけない。原発だけでは、分断による無関心と浸み込んでくる差別構造を見定めなくては。

れど原発は止まっていない。事故から生じた汚染水の海洋放出案や核のゴミ問題は、地域格差を改めて浮き彫りにした。嘘は開催前ながらどれだけのものを犠牲にしたか。復興のための人手も物資も奪ったことを忘れてはいけない。原発だけでは、分断による無関心と浸み込んでくる差別構造を見定めなくては。